

# 令和8年度事業計画

## 1. はじめに

我が国の経済情勢は、各種政策効果の下支えもあり、賃上げ率も2年連続で5%を上回るなど、成長と分配の好循環が動き始めている。一方、米国による一連の関税措置や中東情勢等の国際経済の不確実性及び足元の物価高は、我が国経済を下振れさせるリスクとなっており、中長期的にも、生産年齢人口の本格的な減少という経済のパイの縮小につながりかねない課題を抱えています。

こうした中、総務省が令和7年9月に公表した「統計からみた我が国の高齢者」によりますと、我が国の高齢者65歳以上人口（令和7年9月15日現在統計）は、前年に比べ5万人減少し3619万人となりました。総人口に占める割合は29.4%を記録し、世界で最高（人口4000万人以上の38か国中）となり、依然として人口の高齢化は進行しています。また我が国の少子高齢化は、予想以上に進行し、令和7年の出生数は、66万人と、100万人を下回ってからわずか9年で34万人も減少しました。生産年齢人口（15歳から64歳）も7353万人（令和7年8月現在統計）と前年同月21万3千人減少しております。そのような中65歳以上の就業者数は21年連続で増加し930万人と過去最多でありました。

こうした中、政府の「働き方改革」により、高齢者が働きやすい環境の整備に努めることにより、シルバー人材センターの役割は一層大きくなっています。

以上のような情勢のなか、働く意欲のある高齢者がこれからの人生100年時代の主役として活躍できるよう、シルバー人材センターの安定運営の根幹である高年齢者が就業を通じて社会参加を促進し、高齢者の生きがいの充実、健康の保持、ひいては地域社会の活性化、医療費や介護費用の抑制などに貢献しているシルバー人材センターの取組は、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に大きく貢献しております。

また、共に働き共に助け合っていくことを目指す「自主・自立・共働・共助」の理念のもと、会員の高齢化も踏まえ、高年齢者の多様なニーズに応じた、雇用・就業機会の確保に努め、請負・委任による就業機会の拡大や、プラチナ会員制度の導入、労働者派遣事業の積極的な推進とともに、高齢者の受け皿としての機能を十分果たし「社会の支え手」として、実践できるよう会員・役職員が一丸となって事業の推進に取り組み、沼田市シルバー人材センターの更なる躍進を目指すため以下の基本方針・実施計画を実施してまいります。

## 2. 基本方針

- (1) 会員の拡大活動の推進
- (2) 就業開拓提供事業の推進
- (3) 安全適正就業事業の推進
- (4) 高齢者活用現役世代雇用サポート事業の推進

## 3. 実施計画

- (1) 会員の拡大活動の推進
  - ①入会説明会等を通して会員確保と拡大に努める。
  - ②広報誌の全戸配布にて周知し入会促進に努める。
  - ③サークル活動を通して退会会員の減少に努める。
  - ④デジタル化を進め、入会の促進に努める。
  - ⑤プラチナ会員制度を導入・活用し新規入会及び退会抑制に努める。
  
- (2) 就業開拓提供事業の推進
  - ①公共・企業・家庭等を対象に、就業機会の開拓に努める。
  - ②就業機会の提供を図り、就業の拡大に努める。
  - ③生活支援総合事業への積極的な参加に努める。
  - ④人手不足分野等での就業機会の開拓に努める。
  
- (3) 安全適正就業事業の推進
  - ①安全就業実施計画に基づき、会員の事故防止に努める。
  - ②会員の安全意識の向上と確保に努める。
  - ③適正就業ガイドラインに沿った就業の推進に努める。
  
- (4) 高齢者活用現役世代サポート事業の推進
  - ①会員拡大を図り、人手不足分野等の就業拡大に努める。
  - ②シルバー派遣事業の拡充を図り、事業の推進に努める。
  - ③ホームページで更なる多方面への周知を計る。

